



なばりんく

10・11月号



しあわせ写真

移動おもちゃ図書館(南富貴ヶ丘集会所)
チャイルドサークルひまわり

まちびと探し

今月の
まちびとさん



まつだ みき
松田 美樹さん
(花水木の会)

松田さんは、手芸などを通して、おしゃべりしながら楽しむサロン「花水木の会」で会計をしています。

きっかけは「手芸のサークルができるからぜひ来てみて」と誘われ、自分が編み物をやっていたことと、声をかけてくれた人が全身手編みの服を着ていたことに強く心を惹かれ「行ってみたい」と思ったことです。

「会に参加するため、仕事を済ませ、家の用事を段取りし、買い物を終えています。」それほどまでに参加したい理由は、「楽しいから」の一言に尽きるとのこと。

「最初に行ってみたいと思わなければ、自分とは違う世代の人と話す機会がなかった。違う世代の人と関わっていることは、自分にとっての宝物。」そんな松田さんが、楽しいことをやればやるほど、鴻之台希中央の地域に楽しいイベントがどんどん増えていきます。

また、昨年度からは中央ゆめづくり協議会の地域事業部の一員として、お祭りなどのイベントを企画する立場に。「自分はずごいことをする力はありません。ただ、自分達が楽しいと思うことを考え、楽しみながらやっているだけ。」と語ってくれました。

関連記事 2 頁

地域ピックアップ

鴻之台・希央台地域



「花水木の会」



「花水木の会」は、発足4年目を迎えた編み物などを楽しんでいるサロンです。中央ゆめづくり館で、毎週木曜日に開催されている会には40歳代～79歳と幅広く、韓国の方も参加し、12名のメンバーがいます。

いろんな世代の人が、編み物だけでなく、いろんな得意なことを教えあい、何よりお話ができ、手だけでなく、おしゃべりのために口も忙しく動いています。

メンバーの中には、お料理が得意な方もいて、美味しい料理を囲み、いっそうおしゃべりに花が咲きます。

メンバーの一人、久保さんは「毎回、とても楽しく12名の絆も深まり、閉じこもり気味だった人を始め、みんなにとって、とてもいい居場所作りになっています」「これからは、依頼もあり中央ゆめづくり館での作品展示も考えています」

「メンバーで毎月会費を集め、ランチに行くことはもちろん、いつかは、みんなで旅行をしたい」と、楽しそうに話してくれました。



サロン活動紹介

箕曲地域 《サロンお茶処もも太郎》



今年7月、箕曲公民館にサロン「お茶処もも太郎」が誕生しました。

以前、まちの保健室で地域の身近な相談役として活躍していた清田さんが中心となり、高齢者の健康づくりと居場所にと、毎月第1木曜日に開催されています。

みんなで楽しく歌を歌ったり、手芸をしたり、世間話を楽しみながら午前中を過ごします。

帰り際には、お互い声を掛け合い来月の再会を約束する人、一緒にランチに出かける人、それぞれが笑顔にあふれています。

清田さんをはじめボランティア3人の協力もあって、約30人の高齢者が月1回のサロンを楽しみにしているということです。

公民館長は、「来たくても来れない人がいることが課題だが、これからもお年寄りが気軽に集まれる場づくりになれば」と語ってくれました。



ご利用案内

【日時】毎月第1木曜日
9:30～12:00

【場所】名張市夏見215
箕曲公民館

【お問い合わせ】

電話 63-0453

ボランティア トーク ルールTalk!



もりた かずこ
森田 和子さん

九年前に仕事を辞めた私は、「しょうがいを持つ人」との関わりをと「つばさ学園」の講習会に参加しました。それが地元名張でのボランティア活動のきっかけになりました。市主催の「夏・冬休みのタイムケアー」「つばさ学園の行事のサポート」。今は、主に「名張園芸福祉ボランティアの会」と「福祉まちづくりセンター」で活動しています。

ボランティア活動で出会う人たちは、仕事も年齢もバラバラ。立場的な上下も利害関係ありません。そんな中だからこそ、仲間(そこに集う人々)を思いやりながらスムーズに活動する術^{すべ}をお互いが自然と作っていているように思います。

ボランティア活動の場は、今の私の社会との接点であり、居場所の一つとして、大切なものになっています。



音楽工房

10・11月の
“みんなでいっしょに
唄いませんか”

開催日：10月9日(金)
11月11日(水)

上記いずれも

- ◆時間：10:30～11:30
 - ◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあい「ふれあいホール」
 - ◆対象：市内在住の
子育て中の親子から
高齢者まで
- ※参加費無料・申込不要

「あの町この町」

♪あの町この町日が暮れる 日が暮れる♪～
子供の頃、遊びに夢中になって気が付くと日が暮れかかっておまけに遠い所まで来てしまい怖い思いをした経験はないでしょうか？昼間は楽しく遊んでいた子ども達も夕暮れ時は怖いものですね。この曲は、大正14年に「コドモノクニ」に発表されました。作詞は野口雨情で日本古来の言い伝えに関心を持っていたようです。一方中山晋平も、わらべ歌風の旋律を巧みに取り入れています。

♪お家がだんだん遠くなる～

今きたこの道かえりゃんせ、かえりゃんせ～♪
なんだか恐ろしいような感じですが、子ども達は高らかに歌って帰って行く様子が見えてきます。いっぱい遊んでお腹がぺこぺこなんでしょうね！今晚のおかずはなんでしょう？さんま、まったけごはん・・・おうちの様子も見えてきそうです。

一緒に歌いませんか？ お待ちしています。

介護者サロン “さくら喫茶”

- 開催日：毎月第3水曜日
10月21日(水)、11月18日(水)
- ◆時間：13:30～15:30
 - ◆内容：小物づくりと茶話会
 - ◆会場：福祉まちづくりセンター
(イオン名張店 3階)
 - ◆対象：市内在住で、介護をされている方、介護に関わりのある方
- ※参加費無料・申込不要

介護者サロンさくら喫茶の報告

8月は、コープみえ伊賀エリア会が消費者被害(成年後見)のページサートを披露してくれました。その後は、サマーストールを編みました。茶話会では、介護についてたくさんのお話ができて楽しい時間を過ごすことができました。介護をしているみなさん、お近くに介護について話せるお相手はいらっしゃいますか？見学だけでも大歓迎ですので、お気軽にご参加ください。



手づくりレシピ紹介



さつまいももち



〈材料〉

さつまいも	中2本	} A
砂糖	大2	
片栗粉	大2	
牛乳	大2	
(豆乳でも可)		
バター	適量	
(マーガリンでも可)		

石本 公子さん
(ボランティア)



～サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか～

- ① さつまいもの皮をむき適当な大きさに切り数分水にさらす。
- ② 鍋に水を入れてさつまいもが浸かる位で煮る。
- ③ 竹串が刺されればOK、熱いうちにさつまいもをつぶす。
- ④ 材料Aを混ぜ、牛乳を加えて混ぜる。滑らかになったら5ヶ位に分けて丸め、バターまたは、マーガリンをひいたフライパンで中火で焼く。両面に焦げ目がついたら完成。

名張のむかしを歩もう！

小さな名張の町に今では日本では使用されていない、田畑を耕すのに牛で引かす「鋤」の製造会社が数社あったようです。

今では東南アジアなど開発途上国では同様の道具「鋤」を使用しているところを見たり、また時々テレビの旅行番組などで放映されています。

時代は変わり「鋤」は日本で昭和40年頃までは見られましたが、その後は田畑を耕すトラクター、耕運機等へと発展し、「鋤」の時代は終わりました。現在「鋤」は名張郷土資料館に展示されています。

「鋤」の需要減に伴い会社の廃業、倒産となり、現在存続している会社は「タカキタ」のみですが、同会社も牧草用大型草刈機や除雪車などに転嫁し、名張に本社のある唯一上場企業です。

写真は東町に一社あった農機具会社の面影ですが見た通り、蔦や蜘蛛の巣で廃墟そのものです。美観や防犯から考えると取り壊すのがいいようですが、歴史的価値観から保存も一つの考えです。どちらを選択するにも難しい問題です。



おきつもを語る会 杉本博資

協力：おきつもを語る会

(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地 名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111

福祉まちづくりセンター

ショッピングセンターリバーナ(イオン名張店)3階
電話番号 62-7388
ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
発行部数：1,300部

〈設置場所、協力店舗〉

総合福祉センターふれあい、福祉まちづくりセンター、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、子ども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近畿大学工業高等専門学校、名張市役所、名張市立病院、名張市立図書館、総合体育館、協力店舗等(吉野豆腐、はなびし庵、なの花薬局夏見店、山平たばこ店、café*mjuk、books アルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、ワロリヤ本店、高齢者介護予防拠点「ゆこゆこ」、コミュニティープラザナウラ

《名張市内の中学校では、クラス掲示をしていただいています。》

★地域福祉活動情報受付中！『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど・・・情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます！

次のなばりんくは平成27年12月1日発行予定です。